

關

一六經檢第三六號

陸軍省

密受第二八七號

七月廿六日

戰用品検査成績ノ件報告

明治四十三年七月二十日

第十八師團長木村有恒

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

戰用品取扱規則第二十八条ニ依リ本年執行戰用品検査成績別紙報告候也

表

34 毅

三

三

八月四日

毅

少衛隊

0632

0633

第

開

一八經換第...  
陸軍省

密受第...

二八七號

七月廿六日

陸軍省

經受第...  
一八〇號

七月廿八日

戰用品検査成績ノ件報告

明治四十三年七月二十日

第十八師團長木村有恒

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

戰用品取扱規則第二十八条ニ依リ本年執行戰用品検査成績別紙報告候也

表

弘毅

八月四日

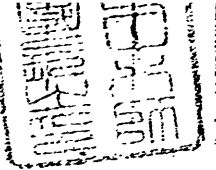
0634

當部宛

ノ八〇號

昭和七年八月

止六日



戦用

0634

常任顧問、別表、支領

經理局 衣種

第十八師團戰用品検査成績報告

明治四十三年七月 日

戦用品検査官陸軍主計監平野政行

第十八師團長木村有恒殿

命ニ依リ各部隊、貯藏ニ係ル戦用品、検査ヲ逐々候處具ノ貯藏保全新陳交換保管出納簿等總テ規定ニ基キ確實ニ實行セシ其ノ成績善良ナルヲ認ム

一 戦用品準備、順序及程度ハ適當ナリ

其二 被服及裁縫具ハ本年度ニ於テ管理部隊ノ増減人員、

差額ニ對シ若干ノ不足足モ不日全部交付セラルル等苦ナリ

戦用被服中ニ混入セシ紺紬被服ノ割合尤、如シ



0

名	細針製現在数	師團に於て準備する總数	同上に對し細針製割合
第ニ種帽	七〇五二	四三六一六	約六分の一
衣袴	六〇〇〇	四三四七〇	約七分の一
外套	六五〇〇	四三〇九八	約七分の一

茶褐服に對し列隊に細針服に留守隊守備部隊等に充當  
 する如く計重シアリ

其ニ事務用品糧食炊具に全ク完備シアリ

但し携帶口糧糧秣廠製造の乾麵麩ヲ基礎トシ不足

ノ分ニ對シテハ精ヲ以テ充當シアリ

其ニ馬匹車入具に所要數ニ對シ約十分の一不足ナリ

但し所要數八九三ニ現在數八〇九六差引八三六個不足ナリ

2890

被服部ノ在庫

町組割合

町六分、一

町七分、一

町七分、一

等三充當

基礎ト不足

此ナリ

吾個ノ不足ナリ

4890

被服部ノ在庫品ノ以テ是ニ付ス  
衣務課

其四 天幕ハ師團ニ於テ必要ナキ為全ク準備シアラズ

ニ材料及製作方共ニ耐用ニ適當ス然レトモ歩兵第百六聯隊(大井)及長崎重砲兵大隊ニ貯藏セル水筒、負革中復旧ノ際誤テ糸細製、モノ總計四三三八個受入セルヲ發見シ可規、革製ニ交換方目下申請中ニ屬ス

佐吉保重砲兵大隊ニ有鉄編上短靴ヲ貯藏セリ右ハ異才ナルヲ以テ本年度ニ於テ耐用品不足補填、為交付セラルヘキ編上短靴ニ交換交付ヲ受クルノ計畫ナリ

三 被服、大小靴數、割合ハ未ダ所望ノ莫ニ達セス自今年度被服、調製ト共ニ漸次其ノ目的ヲ達スルニ至ルヘシ

四 被服、虫害ハ甚モ之ナキヲ認ム

水筒、負革、編上靴

ス

四六聯隊(大井)

後日ノ際 語テ

規ノ革製ニ

藏セリ石ノ異

為交付セラル

ス自今年度

ルハレ

7-8890

水筒及革編上靴付取扱付

名程課



五明治四十二年度ニ於テ製作年次區分調書及新陳交換敷調  
書別紙九葉通トス  
以上要スルニ對用品ハ一般ニ善良ノ状態ニアリ  
右及報告候也

0640

閱

次官

大臣

九月一日

結

陸

軍

各經理局

陸軍省

陸軍省

軍用品検査成績別紙及報告候也

陸軍大臣子爵幸田正毅殿

軍事案元三

明治四十三年八月拾五日

第廿六師團長男爵山中信雄

軍用品検査成績報告

陸軍省第一二二五號

陸軍省 密受第一二二四號

八月廿日

各部

陸軍省

經八月廿二日

陸軍省第一二二四號

戰用品検査成績報告

本検査の經理部長、定期検査と同時に同官ヲシテ施行セシムルニ其成績ハ概シテ良好ニシテ昨年ニ比シテ改善シタル点少カラシモ尚戰役残品、現在ニテ新舊服割履更ノ途ニテトシテ未タ希望ノ果ニ達スル今各要項ニ就テ之ヲ述ベルハ左ノ如シ

一 準備ノ順序及程度

緩急其度ニ應ジ概シテ適當ニ準備セシメテ其程度ニ亦適當ナリト雖各隊ノ紺絨製被服第一表、如リ甚ク不平均ナリ以下之レカ均一ヲ計ラン為ノ保管轉移ヲ行ハントス其實行後ニ於テハ狀況ハ第一表、如シ

又補修材料及事務用品中印刷物等ノ如キ隊準備シテ

二 材料及製作方

戦用諸品ノ製作方ハ概シテ良好ナルニ材料中蒸絹絨被服夏襦袢袴下中ノ戦役當時ノ製作ニ係リ地質粗糲ニシテ戦用品トシテ完全ナリト認ノ難キモノアリ

三 新陳交換

新陳交換ハ概シテ遠隔ニ實行スルニ其製作年次等ノ關係ハ別表ノ如クナリ現在被服ノ大小號數ノ文數ノ割合ハ一般ニ遠隔ナラサルヲ以テ目下ノ場合ニ於テ製作年次ニ依ラテ主トシテ大小號數ノ文數ノ割合ヲ完全ナラシムト品質ノ善悪ヲ顧慮シテ新陳交換ヲ為スベキヲ命ジテ

四. 貯藏及保全

成得ル限リ手入ト注意トシテ拂ヒツアルヲ確認スルニ一、二、部  
隊ニ於テハ第一種帽、背囊及松果中水漉等ニ輕微ナ  
ル虫害、形跡アリタルヲ以テ充分注意ヲ共ニ置ケリ

五. 被服、大小號教、文教、割合

被服、大小號教、文教、割合ハ一般遠隔ナラズ其原

因ハ被服廠ヲ交付ヲ度リ被服中戰綫當時、

製作ニ係リ其割合ヲ要求スルヲ交付セラレサリシモノアリト

一、各隊ニ於テ年度被服、請求ニ當リ其大小、號教、文

教ヲ遠隔ニ決定シ新陳交換ヲ行フ其欵ヲ補ハント

ス、顧慮ヲ欵トシテ故ニ將來時ニ後飯ニ顧慮スルコトニ

注意ヲ要ス

六、保管出納

確實厳正ニ實施セラレんと認ム

被檢物ノ一々ニ對シテハ、  
「諸表」  
ニ於テ、  
「檢査」  
ノ旨ヲ示シ、  
「檢査」  
ノ結果ヲ示ス

第十六師團駐用事務用品製作年次箇分調査書

品目	現在数					製作年次箇分				
	三十一年	三十二年	三十三年	三十四年	三十五年	三十二年	三十三年	三十四年	三十五年	
金櫃行李	二六二	五七	七六	一二四	二五					
公用行李	九四四	一九八	二四五	五八六	一一五					
鐵付小刀	七〇二	七	二四五	二八六	六四					
磁石	六二二	五七	一七二	一一八	一七五					
算盤	七二二	九九	二四五	五五六	二二					
携帶用盤	不・五	五七	一七二	二一八	一五六					
硯箱	七六六	七一	二四五	五八六	不四					
肉地	一一七四	二〇	五二五	七五五	九八					
風呂	七六六	七九	一五五	五八七	一五五					
墨臺	六四八	〇	二二〇	五四六	不三					



備考  
 一 本事務用古ハ新陳交換ヲ行フス

鳥	二 二 八	梅 害	燭	堤
口	久	缺	蓮	灯
不 五 五	不 二 一	不 一 一	不 四 四	七 四 四
五 七	五 七	四 不	不 不	一 七 二
一 一 不	一 一 不	一 一 不	一 一 不	一 九 八
五 一 四	五 一 四	五 一 四	四 一 二	九 三 三
一 不 不	一 五 四	五 五	七 一	七 二



0648

0647

閣

陸軍

官

大

陸軍省

弘教

陸軍省

明治四十三年八月廿二日 第四師團長 土居光春  
 陸軍大臣子爵寺内正毅 殿  
 當師團下各部隊戰用品，定期検査ヲ  
 行フ事、年四月下旬ヨリ六月上旬迄、期間・次  
 師團經理部長ニ命ジ執行セシメ候  
 付、其成績別冊、通及報告候也

戦用品検査成績、件報告

受領省 密受第三之六號

八月廿五日

陸軍省  
 第四師團  
 土居光春  
 受領  
 密受  
 第三之六號  
 八月廿五日

0648

0647

閱

九月五日

結

弘教

結

次官

大臣

明治四十三年八月廿二日 第四師團長 土居 光 表

陸軍大臣 子爵 寺内 正 毅 殿

當 師團下各部隊戰用品，定期檢查，於  
 年四月下旬ヨリ六月上旬迄，期間・次  
 師團 經理部長 命ニ執行セシメ候  
 其成績別冊，通及報告候也

戰用品檢查成績，件報告

四經第 一六 一 號 受領省 密受第三之六號

陸軍省 第四師團

八月廿五日

八月廿七日

陸軍省 第四師團

# 戰用品檢查成績報告

附註關係、別紙に受領あり

衣糧評

附表第八号、八連乗課に受領保管あり

戰用品検査成績報告

戰用糧秣炊具被服裁縫具馬匹牙口具及陣中事

務用品、検査成績、各部隊多少、優劣アリト虽モ

概シテ良好ナリ而シテ其準備ノ順序及程度、適當ニ

シテ且材料及製作方ハ戰用ニ適セリ

貯藏法ハ從來部隊別ニ依リシテ本年十月下旬戰用

品取扱細則ヲ改メシ、動員区分ニ依ル品種別ト

セリ但ニ三ノ部隊ニ於テ被服ハ検査當時尙旧貯

藏法ニ依リタリ

新陳交換概テ適當ニ行ハレ保全方法ハ概シテ良好

ナリ

陸軍

軍

尚細部、事項、左、如シ

甲 糧秣、炊具

一 準備品、全部、充實セリ

二 材料及製作方、何レモ正規ニ適ヒ、戦用品タルニ差

支ナキモノト認ム

三 糧秣、製作年次、符合、附表第一、炊具、製作

年次、符合、附表第三、如シ

四 新陳交換、適當ニ行ハレリ、其交換品、製作

年次及員数、附表第二、如シ、但シ炊具ハ四

十二年度ニ於テ更新シタルモノナシ

五 貯藏法、適當ナリト認ム

大塚公府井上印行

六、保全方法ハ概シテ良好ナリ但シ炊具中、薪割  
 及鑄ニ少許ノ錆ヲ察セルモ、アリシテ以テ現場ニ  
 於テ手入れヲ命ジ且將來、為メ注意ヲ促シ置キタリ

乙、被服、裁縫具

一、準備品、本年度ニ於テ勤員部隊及編成人員  
 増加、結果不足ヨ生シタルモ過般、令達ニ基キ不  
 日全部充實スル所ナリ

二、準備、順序及程度、適當ナリ但本年度ニ於  
 テ尚紺絨製履ニ依リ充當セラルモ、割合次、如

シ

部隊品目

第二種帽

衣

袴

外套

陸

軍

改正シ 勤員区分ニ依ル品種別トナセシモ之ヲ變 六貯藏方、本年三月下旬戰用品取扱細則ヲ 製作年次及員數、附表第五、如シ 七新陳交換、概テ適當ニ行ハレマリ具交換品、 四製作年次区分、附表第四、如シ 五新陳交換、概テ適當ニ行ハレマリ具交換品、 三材料及製作方、何モ正規ニ適ヒ戰用品ニ 差ナキモノト認ム	野戰部隊	二割五	三割二	三割二	四割二
	守備部隊	六八	七四	七五	七七
	待種部隊	全部	全部	全部	全部
	留守部隊	八七	八九	八九	九一

大塚洋行井上印行

更スハ労働カト日数ヲ要スルコト勿論大ナルハ教育及  
内務カ、都合上<sup>適</sup>ニ旧態ヲ改ムル能ハサルモアリ故ニ  
ニテ部隊<sup>ニ</sup>尚旧貯藏法ニ依リタルモ漸次規定ノ  
如ク實行セシメントス

セ保全方法ハ概テ良好ナリト虽モ左、欠点アルヲ  
認<sup>ル</sup>ズル部隊アリシヲ以テ現場ニ於テ更々注意ヲ  
與ヘ将来、改善ヲ促シ置キタリ

イ、被服ニ規定ノ標記ヲ欠ケルモノ

ロ、背囊、手入不良ナルモノ

ハ、名布ヲ四ツ折トナシ格納セルモノ

ニ、名布ニ害虫ノアリシモノ

陸

陸



丙 馬匹年入具

一 馬匹年入具ハ全部充實シアラス其不足ハ勤員ニ方  
リ調弁スル計画トナリ居レリ

二 材料及製作方ハ正規ニ適ヒ戦用品タルニ差支ナキ  
モト認ム

三 製作年次区分ハ附表第六、如シ

四 新陳交換ハ適當ニ行ハル然レモ其製作年次

新シ其品質良好ナルト平時用品トシテ調弁

セルモ其品質戦用ニ及ハサル等、理由ニ依リ四十

二年度ニ於テ更新ヲ行ハサル部隊多シ其交換

品、製作年次及員數ハ附表第七、如シ

大阪空軍井上印行

0656

馬匹年入具ハ甲乙  
對シテ百四十一組  
不足額ハ本隊  
送付備、若  
附表第六ニ依リ  
本文ニ誤リナ

信

員ニ方

支ナキ

年次

河ノ弁

四十

交換

シ

谷ノ井上印行

9990

馬込通交果ハ十三手ハ勤久外画ナリ新要数ニ  
對シニ百四十一組ノ不足ノ外ハ充實トナル筈ナリ然  
不足數ハ本寺ニ於テ既ニ被服本取ヨリ現出  
送付備ノ筈

附表カハ依レハ現在準備數九千四百五十一但可  
本文ハ誤リナラン  
總壇寺衣糧課

丁 陣中事務用品

一 準備品ノ全部充實シアリ

二 材料及製作方ハ正規ニ適ヒ戰用品タルニ適ス

ルモノト認ム

三 製作ノ年次区分ハ附表第八ノ如シ

四 四十二年度ニ於テハ新陳交換ニルモノナシ

陸軍

0658 0659

九月廿六日

陸軍

皇勅第七二號  
受領第三五六號

戰用品検査成績、件報告

明治三十二年八月卅一日

第十五師團長内山小三郎

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

當師團各部隊保管、戰用品定期検査

成績別紙之通及報告書也

追々、閣下意見、戰用品取扱規則  
附表第二第三号、調書ヲ添付ス

九月八日

九月七日

陸軍

0658 8590

九月廿九

陸軍

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

明治三十二年八月卅一日

戰用品検査成績、件報告

第十五師團長内山小三郎

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

當師團各部隊保管、戰用品定期検査

成績別紙之通及報告書也

追々、開元意見、戦用品取扱規則

附表第二第三号、調書ヲ添付ス

二番

密受第三五六號

日印

九月七日

九月八日

陸軍

為得弄係，別武，者得之  
更款改也

理高  
正  
野  
野

<p>一戰用品、貯藏方法</p>	<p>戰用品ニ關スル意見</p>
------------------	------------------

戦用品の貯蔵方法

1990

0390

一、戦用品の貯蔵方法

戦用品ニ關スル意見

戦用品ハ統テ所要部隊毎ニ區分貯蔵シテ  
 ルヲ以テ動員ニ方リテハ速ニ當該所要部隊ニ  
 分配シ得ルノミナラス手教ト繁雜ヲ避ケルニ利  
 アリ然レトモ平時ニ在リテハ其ノ保全及新陳交  
 換其他整理上品種區分ニ依ル貯蔵法ニ  
 如カス又動員下令ニ際シ之ヲ分配スルニ決  
 シテ時機ヲ失スルカ如キ憂テキヲ以テ將來ニ  
 於テハ品種區分ニ依ル貯蔵法ヲ可ナリト  
 認ム

二、被服倉庫内へ雨水浸透

戦用被服倉庫中風雨激シキトキハ窓ヨリ

雨水浸透スルモノアリ右ハ速ニ防遏方法ノ

設備ヲ要スルモノト認ム(本設備ニ就テハ師團經理部長ヨ

リ自下伺出申)但シ差當リ被服品ノ防濕及保

全上ニ關スル知置概テ適當ナリ

三、箱詰内、新陳交換

糧食罐詰内中ニハ明治三十八年製モノモアリ右ハ

戰用ニ堪フトモ長既ニ久シキ貯藏ニ係ルヲ以テ明

四十四年度ニ於テハ全部新陳交換セラレシム

ヲ望ム

陸軍

防雨設備



算

知ヨリ  
方法ノ

經理部長ヨ

及保

アリ右ハ

ヲ以テ明

ラシキコト

東亞通商

8990

為兩段位者

不能保

戦用品定期検査成績

第十五師團

當師團各部隊に於て保管シアル戦用品ハ  
別紙製作年次區分調書ノ通ニシテ兵ノ  
検査成績左ノ如シ

一、戦用品準備ノ順序ハ適當ナリ

二、戦用品ノ程度ハ概テ適當ナルモノト認ム

三、現在保管ノ戦用品ハ概シテ戰用ニ適ス

但シ戦用被服病衣中ニハ代用材質ヲ以

テ調製シタルモノモ戰用ニ堪フルモノト認ム

四、出納保管及新陳交換ハ概シテ正確ニ實

行ニアリ

五、貯蔵及保全ノ方法ハ適當ナリト認ム  
六、被服ノ大小、躰數等ノ割合可ナリ

目録

一、

第十五師團各部隊戰用品検査實施日調書

戦用品検査官 陸軍一等主計正齋藤文賢

實施日

實施

施

部

隊

明治三十五年五月五日

步兵第十五大隊

隊

五月十日

步兵第十八聯隊

隊

五月十四日

步兵第六十聯隊

隊

五月十六日

步兵第六十七聯隊

隊

五月十八日

濱松衛戍病院

院

五月廿二日

步兵第三十四聯隊

隊

五月廿三日

步兵第九旅團司令部

部

五月廿四日

静岡衛戍病院

院

考 備 今 今 今 今 今 今 今 今

五月十五日、六月十五日迄特命検閲、為一時戦用道検査ヲ中止ス

六月十三日  
七月十日  
七月九日  
七月七日  
七月五日  
七月二日  
六月三日  
六月廿八日

騎兵第十九聯隊  
騎兵第二十五聯隊  
騎兵第二十六聯隊  
野砲兵第二十一聯隊  
豊橋衛戍病院  
輜重兵第十五大隊  
歩兵第十七旅團司令部  
騎兵第四旅團司令部  
第十五師團司令部

6990

8990

閱

書



文書領受第三五七號

弘經癸第一九〇九號

戰用品検査成績報告

明治卅三年八月三十日 第八師團長男爵山根武

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

戰用品取扱規則第二十八條ニ據リ本年各部隊保管ノ戰用品ヲ検査候處其成績及意見左記ノ通ニ候條及報告候也

第一一般ノ狀況

各部隊保管ノ戰用品ハ其ノ準備ノ順序及程度材料製作新陳交換貯藏保全大小冊数文教及保管出納

九月八日  
九月一日

06.90  
新陳交換

6990

8990

開

書



密受第三五七號

弘經卷第一九〇九號

戦用品検査成績報告

明治四十三年八月三十日 第八師團長男爵山根武

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

戦用品取扱規則第二十八條ニ據リ本年各部隊保管ノ戦用品ヲ検査候處其成績及意見左記ノ通ニ候條及報告候也

第一一般ノ狀況

各部隊保管ノ戦用品ハ其ノ準備ノ順序及程度材料製作新陳交換貯藏保全大小稀数文教及保管出納

九月一日

八月八日

0690

戦用品の保管  
新陳交換

九月八日

九月一日



部隊保  
心見左

程度材  
官出納

04.90

此日四月三日申日六月一日作年次  
志方新陳定格取用生提出う要  
示格  
保



ハ概ニ適當ニ實施シアルヲ認ム然レトモ尚ホ十分ナラサル  
 モノアルヲ發見セシニ由リ訂正セシメ又ハ改良スヘク命シ置  
 ケリ但シ別ニ報告セシ如ク輜重兵第八大隊ニ於テ檢  
 査結了後戰用品ノ一部ヲ竊取セラレタルハ甚々遺憾ト  
 スル所ナリ將來一層監督ヲ嚴ニシ以テ斯ノ如キ失能心ナカラ  
 シメンコトヲ期ス

檢査上修正若クハ改良スヘク命セシ事項概ニ次ノ如シ

- 一、糧 秣 牛肉罐詰ノ更新方法ヲ誤レルモノ
- 二、被 服 防虫劑ノ使用量少量ナルモノ
- 三、裁 縫 具 鐵物錆止十分ナラサルモノ
- 四、炊爨具 鐵物ノ手入れ十分ナラサルモノ及水澆ニ防虫劑

ノ使用量少ナキモノ

五馬匹手入具

毛櫛ノ更新方法宜シキヲ得サルモノ

第二 現在數及更新ノ狀況

別紙 第二號及第三號表ノ如シ

第三 意見

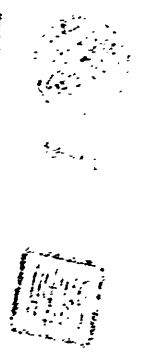
特ニ記スヘキ事項ナシ

當課關係ノ別紙ニ受領後

軍用衣糧

軍





一五三七  
第五師團長大谷喜久藏  
三六五號

九月十日

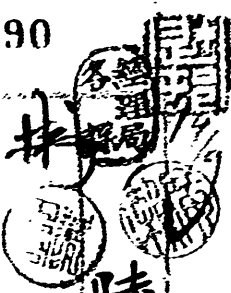
九月十日

四十三年度戰用品定期検査報告

明治四十三年九月五日

第五師團長大谷喜久藏

陸軍大臣子爵寺内正毅殿



0673

0673

四十三年度師團各部隊戰用品、定期検査、別紙検査日割表、依り、經理部長ヲシテ實施セシメタリ、其成績左ノ如シ

一、戰用品準備、順序方法、概テ適當ニシテ悉ク新志ヲ以テ充實シアリ、而シテ其製作方亦適當ニシテ戰用品トシテ使

九月十日

用ニ堪ヘサルモノナシ

ニ新陳交換ノ實行並、現品ノ格納及手入法ハ各部隊共、綿密ノ注意ヲ以テ實施シアルヲ以テ其保存ノ景況良好ナリト雖小被服ノ新陳交換ニ就テハ未ダ充分ナラサルモアリシヲ以テ是ニ関シ注意ヲ興メ置ケリ

三被服ノ大小号数ノ割合ハ概テ適當ナリト雖後日ノ際交附セラレタルモノ未ダ全部新陳交換ヲ終ラサルノ結果尙ホ希望ノ域ニ達セサルモアリ

四戦用品ノ保管出納ハ一般ニ確實ニシテ現在高ニ異状ナシ而シテ出納簿及証憑書類ノ整理ハ概シテ適當ニ實行セラルアリ

五戦用品ノ製作單位區分及新陳交換ノ状況ハ別表ノ如シ

意見

患者用被服、地質請求ニ對シ代用品ヲ交附セラル、結果談  
被服ノ新陳交換ヲ行フヲ得ズ將來ハ規定ノ地質ヲ交附セ  
ラレシト望ム

當洋奉係、別紙ニ度叙及ル

埋高衣糧課

4490

9290

意見

患者用被服ノ地質請求ニ對シ代用品ヲ交附セラル、結果該被服ノ新陳交換ヲ行フヲ得ズ將來ノ規定ノ地質ヲ交附セラレシマシム

當課關係別紙ノ後記

陸軍省總務局發給

陸軍省

明治四十三年戰用品定期検査實施表

同 四月二十八日	同 二十九日	五月 二日	同 三日	同 五日	同 六日	同 八日	同 九日	同 十三日
輜重兵第五大隊		工兵第五大隊		騎兵第五聯隊		重砲兵第四聯隊		



同 十四日	歩兵第四十二聯隊
同 十五日	歩大第二十一旅團司令部 山口衛戍病院
同 十九日	歩兵第二十二聯隊
同 二十日	
同 二十一日	松山衛戍病院
同 二十七日	
同 二十八日	歩兵第十一聯隊
同 三十日	
同 三十一日	歩兵第七十一聯隊
六月 二日	
同 三日	野砲兵第五聯隊

同 六日

蕪豫要塞司令部

同 七日

蕪豫重砲兵大隊

同 十日

步兵第九旅司令部  
廣島要塞司令部

七月五日

第五師團司令部

九月三十日

結

弘文館

陸軍省

陸軍大臣

陸軍大臣子爵寺内正教殿  
本年執行ノ當師團戰用品定期檢査ノ成績  
別冊ノ通り及報告候也

明治四十三年九月十二日 第十一師團長男爵伊地知幸外

戦用品定期檢査ノ件報告

第十一師團 滿經第三二四號 密受第二九四號 九月廿三日

各部

陸軍省

陸軍大臣

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

0682

當課関係

本館蔵書  
五

天保十三年

九月廿一日



成績

0682

當課關係、別紙ハ度領ス

經理局建築課

總理局衣糧課

明治四十年 戰用品定期検査報告書



第十一師團

各部隊、戰用品定期検査ハ左ノ區分ニ依リ検査官ノ命ニ當  
該部隊會計經理検査ト同時ニ執行セシメテ其成績ハ別  
紙甲號及乙號之通リニテ該成績ニ對シテ別ニ意見ナシ

- 一、滿洲派遣部隊 師團經理部長淺井達三
- 二、内地留守部隊 師團經理部殘留會計正佐木定一

甲 號

滿洲派遣部隊戰用品定期検査成績

一、検査ヲ執行セル戰用品ノ種類 左ノ通

(派遣要領所定ノ携行品悉皆)

派遣部隊定員ノ對シテ携帶口糧

同 認識票

派遣部隊ニ要スル定數

同 上

左記各項ノ通

良好ニシテ全ク整備レアリ

適當ナリ

正確ニ實行セラレアリ

二、検査ノ成績

(4) 陣中事務用品

(3) 炊具

(2) 被服

(1) 糧秣

(1) 準備程度ノ良否

(2) 材料及製作方ノ適否

(3) 新陳交換ノ確否

(4) 貯藏及保全方法、適否

概不適當ナルモノニ、部隊、於テ金

屬製品、手入充分ナラザルモノ及鐵器格納上注意ノ周到ヲ缺キタルモノ

アリタルヲ以テ注意ヲ與、何レモ完全ニセシメタリ

(5) 保管出納、確否

確實ナリ只渡満、為メ内地出發

際シ炊具中菜包布ノ若干枚ヲ誤テ留守隊ニ遺留シタル一部隊

リタルガ検査後直ニ其現品ヲ追送セシメ目下完備セリ

(6) 其他

戦用品ニ関スル簿表、整理、就テハ

多少批難ス(キモノアリタルヲ以テ是等ハ即時悉ク整理替若シクハ訂正

等ヲ為サシメ不備ナキニ至レリ

三、戦用品製作年次區分及其新陳交換教訓書 別紙、通

(被服、炊具、及陣中事務用品、  
新陳交換ヲ行ハシムルニ該調書ハ屬ス)

乙 號

## 内地留守部隊戦用品定期検査成績

一 戦用品準備ノ順序及程度 順序適當ニシテ程度ハ準備  
 部隊及留守部隊中ホタ若干整理ニ至ラサルモノアレトモ動  
 員ノ際中央部ヨリ送付ヲ受クルトニナリ居レリ其他師團ニ  
 於テ整備スヘキ徽章等微細ノ物品モ動員ノ際ニ於ケル充足  
 計画確立セリ

二 材料及製作方ノ適否 何レモ戦用品ニ適ス但被服中三十七、三  
 年役後復旧セシ紺絨製衣袴外套中ニハ稀レニ品質充分ナ  
 ラサル疑アルモノアリ新陳交換ノ期ニ於テ漸次完全ナラシメントス  
 三 新陳交換ノ確否 常用品新調ノ都度確實ニ新陳交



換ヲナセリ但シ炊具裁縫具天幕陣中事務用品ハ新陳  
交換ノ機殆ントナキヲ以テ其交換方法目下研究シツアリ

四貯藏及保全ノ方法何レモ良好ノ狀況ニアリ但シ炊具中水漉  
「アラホル」ニハ害<sup>虫</sup>驅除ノ注意足ラサルモノアリ一ニ虫害ヲ受ケタル  
モノアリタルニ依リ豫防ノ方法ヲ説示シ其被害品ハ直ニ補修ヲ  
命シタリ

五被服ノ辨數及大小ノ割合前年ニ於テ不適當ノモノアリ注意  
ヲ集ヘアリレカ新陳交換ノ部度改善レ目下殆ント完全ノ域ニ  
至レリ

六保管出納ノ確否何レモ正確ナリ

七戦用品製作年次及同新陳交換數ハ別紙調書ノ通リト

不但レ被服糧秣馬匹手入具ノ外新陳交換ナシ

大坂伊藤氏家書

陸

年

0690

6890

九月三十日

南洋軍司令部南洋軍之文部局

經理局建築課

陸軍

決行 經理局 南洋軍司令部

戰用品定期檢査成績之件報告  
明治四十三年九月五日 第十七師團長 一ノノ兵  
陸軍大臣子爵野村正毅殿  
明治四十三年戰用品定期檢査成績別  
紙之通及報告候也

弘毅

林

三〇 密受第三九八號

九月廿六日

0690

6890

九月三十日

改會

南洋軍兵部、南洋軍兵部、南洋軍兵部

戰用品定期檢査其成績之件報告  
明治四十三年九月  
第十七師團長 一ノノ兵  
陸軍大臣子爵野澤正毅殿  
明治四十三年戰用品定期檢査其成績別  
紙之通及報告候也

弘毅

山

密受第三九八號

九月廿六日

經理局建築課

陸

軍

明治四十三年戰用品定期検査成績報告書

戰用品定期検査官陸軍等主計官伊藤躬平

本年度に於ける戰用品定期検査は四月下旬著  
手し九月中旬終了し其成績左ノ如シ

第一戰用品準備順序及程度、適否

其一 戰用被服

一 被服準備順序ハ適切ニテ野戰部隊、大部分  
ハ既ニ茶褐色製品ニ充實セリ又不足品ハ單ニ  
梱包布ノミナルヲ以テ準備上支障ナキモノト認ム

其二 戰用糧秣炊具行李及馬匹手入具

一 全部充實セリ其準備順序適當ナリト認ム

岩崎

第三材料及製作方戰用、適否

其一戰用被服

一現在被服、一部ハ今猶戰役間ニ於ケル隨時調辨、代用物質ヲ以テ製作シタルモノアリ殊ニ帽、衣、袴、外套、絨絨製品ハ完全ナル適合品ト云フヲ得ス

第三新陳交換實行ノ適否

其一戰用被服

一本年度ニ於テ經常被服費、許ス範圍ニ於テ新陳交換ヲ實行スル其順序及程度適當ナリト認ム

其二戰用糧秣

一 本年度<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>乾麵麩ハ全部四十二年製品ヲ以テ又  
 通常用糧詰<sup>ル</sup>ハ約三分<sup>ノ</sup>ニ<sup>テ</sup>四十年製品ヲ以テ新  
 陳交換ヲ終<sup>ル</sup>漸次戰役後間<sup>ノ</sup>製品ヲ減少<sup>ス</sup>ツ<sup>テ</sup>ア  
 リ

第四、貯藏及保全方法ノ適否

其一、戰用被服

一 貯藏ノ方法ハ甲、部隊區分ニ據<sup>ル</sup>モト乙、品種區分  
 ニ據<sup>ル</sup>モトアリ乙ハ甲ニ比シ倉庫<sup>ノ</sup>使用上容積ヲ縮  
 小<sup>シ</sup>手入及新陳交換ニ於<sup>ケル</sup>作業ヲ容易<sup>ナラシメ</sup>  
 最<sup>モ</sup>有利<sup>ナリトス</sup>其保全方<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>ハ共<sup>ニ</sup>適當<sup>ナリト認</sup>  
 ム

其二 戰用糧秣炊具公用及金櫃行李

一 糧秣炊具庫、新設完成シタル諸隊、收容品、

整頓ヲ容易シ便益ヲ感シツ、アリ貯藏及保全

共ニ適當ナルモ炊具及行李中復旧ノ際古品ヲ應

セシ中ニ程度稍劣ルモノアリ認ム

第五 被服大小號數割合ノ適否

一 概シテ適當ナリト認ム

第六 保管出給ノ確否

一 保管出給ノ確實ニ行ハレアリ



9690

9690

十月七日

結

軍事機密

定期検査物件報告

陸軍省 密受第四九號

九月廿八日

明治四十三年九月二十一日

關東都督子爵大島義

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

戦用品取扱規則ニ依リ當府陸軍經理部長

ラシテ本官管理ニ属スル戦用品、定期検査施

行セシメ候處其成績別紙ニ通リ、有之候条

及報告候也

陸軍

9690

9690

十月七日

結

軍事機密

一二九

陸軍省

密受第四九號

九月廿八日

戦用品定期検査件報告

明治四十三年九月二十一日

関東都督子爵大島義

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

戦用品取扱規則ニ依リ當府陸軍經理部長

ヲシテ本官管理ニ属スル戦用品、定期検査施

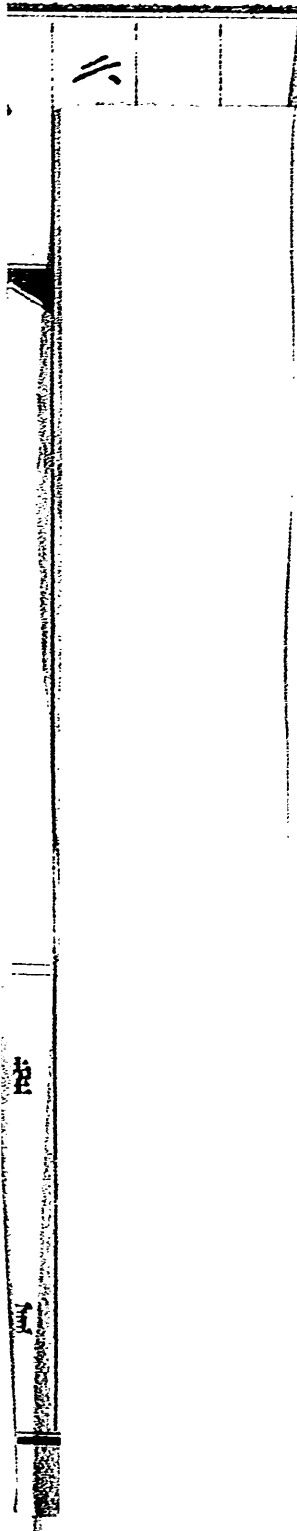
行セシメ候處其成績別紙ニ通リ、有之候条

及報告候也

陸軍

8690

4690



上

者非亦傳，分中，文領也

衣經

尚書關係別紙要領註

昭和十一年

陸軍省

8690  
4690

### 戦用品定期検査成績報告

#### 一、戦用品準備、順序及程度

本官管理ニ属スル戦用品ハ旅順要塞諸部隊動員計画上、糧秣、被服、器具材料及要塞防禦計画上、豫備糧秣並師團作戦計画上、準備糧秣ニシテ準備、順序及程度ハ適當ナリト認め、但検査、結果處理セシメタル事項左ノ如シ

- 一、三十七年製備用油エキス中三百四十九貫二百匁ハ自然醜酵変敗、北アリテ戦用品ニ適セサルモノト認め、戦用品ヨリ排除セシメタリ、但之ヲ為シ本年製計画數ニ支障ヲ来スコトナシ
- 二、戦用炊具中錆止作業未ク充分ナラサルモノアリタルヲ以テ

陸軍省

更、加工セシム

二、戦用ノ適否

貯蔵品ハ孰レモ戦用ニ適スルモノト認め

三、新陳交換ノ確否

新陳交換ハ孰レモ正確適切ニ實行セルヲ認め

各品種ノ製作年次區分及新陳交換數調書別表ノ如シ

四、貯蔵及保全方法ノ適否

勤負計畫ニ基キ糧秣被服及器具材料ハ全部旅順ノ貯

蔵シ其他ノ糧秣ハ防禦計畫並作戰ノ計畫ニ基キ旅順大

連及鉄山嶺ノ各地ニ分割貯蔵シテ貯蔵及保全ノ方法共ニ

適當ナルヲ認め

陸

軍

五、被服ノ大小踰數等割合ノ適否

被服ノ大小踰數等ノ割合ハ適當ナリト認ム

六、保管出納ノ確否

保管出納ハ孰レモ正確ナルヲ認メ夫々保管出納担任者ノ責任ヲ解除セリ

七、意見

一、今回施行シタル戦用品定期検査ハ其成績概シテ  
佳良ニシテ各部隊長以下當局者カ各其職責ヲ重シ  
ツ、アルヲ認ム

二、種録中ニハ尚別紙製作年次一區分調書、通り戦役  
残品ノ現在スルモノヲナカサルモ漸次之ヲ更新シ戦用

1020

品ノ實價ヲ良好ナラシメントス

後

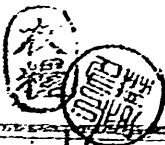
宣

0703

0702

十月廿四日

林 閣



密受第四四八號

庶第二二九號



庶第二二九號 十月十八日

戰用品検査成績并意見ノ件

明治四十三年十月五日第九師團長神尾光

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

本年施行ノ戰用品定期検査成績并

意見左記書類相添別紙及報告

當課關係別紙を收置録し、吾課關係ノハ、空館也

陸軍省總務課

永松 謙



0703

0702

十月廿四日

密受第四四八號

廣第二二九號

戰用品検査成績并意見ノ件

明治四十三年十月十五日第九師團長神尾光

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

本年施行ノ戰用品定期検査成績并  
意見見左記書類相添別紙及報告

候也  
左記

一 製作年次区分調書  
一 新陳交換數調書  
五通  
貳通

陸軍



十月廿五日

閱

明治四十三年

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

第十三師團長長岡外史

軍用物品取扱規則ニ依ル諸品及

二月二十六日マテノ間ニ於ケル當師團經理部長ノ會  
同部長ヲシテ戰用品取扱規則ニ依ル諸品及  
戰用蹄鐵、定期検査ヲ執行セシメ候處概テ取扱シ  
ルモノト認メ候其成績別紙、通ニ付及報告候也

播磨關係ノ令ヲ受領セリ

騎兵課

軍



第十三師團戰用諸品検査成績報告

各部隊戰用諸品、取扱へ概不適當ニ行ハレアリ是、新年検査成績ニ比スルニ概シテ優レルモノト認ム

然レトモ細部ニ涉リテハ尚缺點ト認ムルモノ尠カラズ此等ハ悉ク批難シ注意ヲ與ヘ方法ヲ示シテ整理ヲ終ハラシメタリ

充實、概況及缺點ノ主ナルモノ左ノ如シ

一 糧秣

目下ハ完全ニ充實シアレトモ某步兵隊ニ於テ準備品ヲ誤テ  
常用品ニ繰下ケ或期間準備數ニ對シ若干不足ヲ生ゼシコト

アリ

陸

軍

被服

準備品ハ既設隊ニテハ餘裕ヲ生シ新設隊ニテハ勤員部隊  
 増加ノ爲不足セルヲ以テ保管轉換ヲ行ヒ概一ヲ計リタレトモ  
 尚不足イモハ陸軍被服本廠ヨリ不日現品(本年七月陸軍  
 省ヲ五五五號)到着  
 セムトス

濃紺絨製帽衣袴ハ明治四十四年。濃紺絨製外套ハ明治四  
 五年ニテ茶褐色製ニ全部交換シ終ハル豫定ナリ

缺點ノ主ナルモノト認ムヘキモノ左ノ如シ

- イ、新陳交換ノ順序、辨文數、配當稍不可也モノ
- ロ、格納方法及手入、防蟲劑ノ使用適當ナラサルモノ
- ハ、簿表、記載法違式及整理ノ不可ナルモノ

一裁縫具

内容品ハ本年度陸軍勤員計畫訓令ニテ改正セラレタルニカカハ  
ラス尚前年度ノ通準備シ又修理材料用色紙及皮革類ヲ  
準備セサルモノアリシヲ以テ委任經理金ニテ調辨シ充實セシムル  
如クセリ

一陣中事務用品

各軍他師團ヨリ多数ニ保管轉換ヲ受ケ(各軍一月陸一。九陸)之レカ  
為非準備品ノ種類タル補助輸卒隊用ニ充テ尚若干ノ  
過剩品アリシヲ以テ戦用過剩品トシテ整理セリ然レトモ内容  
品ノ一部分不足セルヲ以テ委任經理金ニテ調辨シ充實セシムル  
リ

陸

陸

一炊具馬匹牛入具蹄鉄

完全充實シヤントモ炊具格納適當ナラサルモノ及蹄ニ金  
屬ニ鍍ヲ生セルモノアリ又蹄鉄ノ手入柄不可ナルモノアリ

厨  
具



目録

- 一 第十三師團戰用糧秣製作年次區分調書
- 一 明治四十二年度第十三師團戰用糧食新陳交換調書
- 一 第十三師團戰用被服製作年次區分調書
- 一 明治四十二年度第十三師團戰用被服新陳交換調書
- 一 第十三師團戰用裁縫具製作年次區分調書
- 一 明治四十二年度第十三師團戰用裁縫具新陳交換調書
- 一 第十三師團戰用炊爨器具<sup>制</sup>製作年次區分調書
- 一 明治四十二年度第十三師團戰用炊爨器具新陳交換調書
- 一 第十三師團戰用馬匹手入具製作年次區分調書
- 一 明治四十二年度第十三師團戰用馬匹手入具新陳交換調書
- 一 第十三師團戰用陣中事務用品製作年次區分調書



一明治四十二年度第十三師團戰甲陣中事務甲品新陳交換調書

一第十三師團戰甲蹄鉄製作年次區分調書

一明治四十二年度第十三師團戰甲蹄鉄新陳交換調書



三

三



十月廿七日



戦用品検査成績報告ノ件

戦用品検査成績報告ノ件

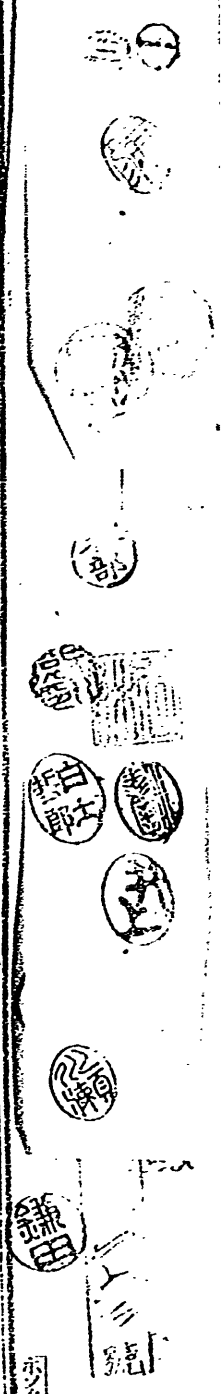
明治四十三年十月廿七日 第三師團長男爵渡邊

陸軍大臣子爵寺内正教殿

戦用品取扱規則第二十八條ニ依リ當師團  
戦用諸品ニ対スル定期検査執行候處具成  
績別紙、通、候条及報告書也

陸軍省 第四六八號

十月廿七日



0713 0714

五月廿八日



三十一

戰用品検査成績報告ノ件

明治四十三年十月廿二日 第三師團長男爵渡邊

陸軍大臣子爵寺内正教殿

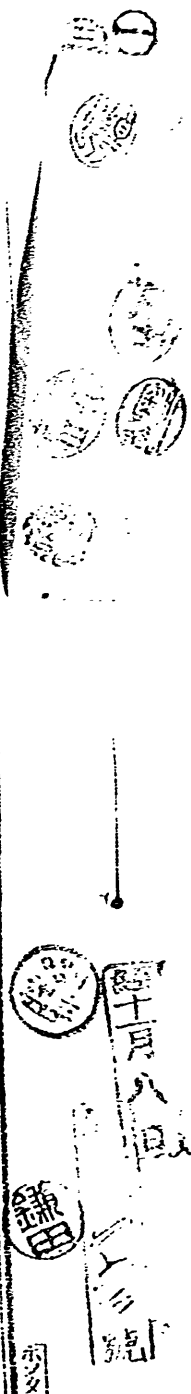
戰用品取扱規則第二十八條ニ依リ當師團

戰用諸品ニ対スル定期検査執行候處具成

績別紙、通候条及報告書也

四六八號

十月廿七



# 第三師團戰用品検査成績報告

當詳關係ノ別紙補書受領候也

經理局長 櫻田

## 團司令部

第三師團戰用品検査成績報告

第三師團司令部

第三師團戰用品(糧料炊具被服裁縫具馬具手入具傳中事務用品)検査成績報告

一、戰用品準備順序及程度

共ニ適當ナリト認ム非準備品ニ在リテモ動員實  
施ニ當リ容易ニ調達シ得ルキ計畫完全ナリ

二、材料及製作

材料ハ概シテ良好製作モ亦佳良ニシテ戰用ニ適  
スルモノナリ

三、新陳交換

正確ニ實行シテ其詳細ハ別紙新陳交換數

調書、如シ  
被服品ハ一部隊ニ於テ茶褐絨製ト紺絨製ト

混用新陳交換ノ關係上蓋シ止ムヲ得サ  
 ル所ナリ然レモ動員實施ニ當リテハ常用ニ属  
 スル茶褐紙製品ヲ應用シ大部分ハ充當  
 シ得ルヲ以テ一部隊ニ於テ混用給與トナラサ  
 ル如ク計畫セリ

四、貯藏及保全

概シテ適當ニ行ヒツアリ然レモ二三不充分ナル  
 モアリレラ以テ注意ヲ與ヘ直ニ實行セシメタリ

五、被服ノ大小号數ノ割合

毎年入營セル兵卒ノ統計ト戰地トシテ顧慮  
 レ割合ヲ定メテ請求又ハ製作シツアルヲ以テ具

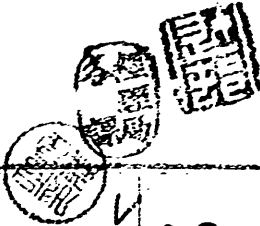


割合ハ適當ナルモト認メタリ  
大保管出納

共ニ正確ニ實行シツアリ本年實施シタル  
検査ハ四十二年六月ヨリ四十三年五月迄ノ  
期間ニ於ケル出納ニシテ簿表ノ整理ニ就  
テ一ニ欠点アリシヲ以テ夫々主任者ヲシテ  
整理ラアセシメタリ

監  
査

閣下



十經衣第一〇〇六號  
 陸軍省 密受第四七三號  
 陸軍大臣子爵寺内正毅殿  
 明監正年自十七日奉詔團長小泉正保  
 兼用品取扱規則第三條依り執行  
 之り本年年度定期検査成績別紙之  
 通意見書相添比段及報告候也



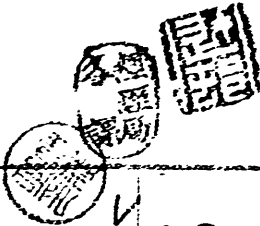
陸軍

0721

0720

開封

10/11



十經衣第 〇〇六號

教用品定期検査之件報告

明治三十五年十月十七日 陸軍大臣 小泉正保

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

教用品取扱規則第三條依り執行

シテ本年年度定期検査成績別紙之

通意見書相添此段及報告候也



二三八



十月廿九日

十月廿九日

陸軍省 密受第四七三號

陸軍

意見書

當師團各部隊ニ保管格納セル戰用諸品ハ本年當師團經理部長管内會計經理實地検査ノ時機ヲ利用シ之カ検査ヲ執行セシメタルニ

當師團關係ノ別紙調査表  
願表也

經理局長櫻田



意見書

當師團各部隊ニ保管格納セル戰用諸品ハ本  
 年當師團經理部長管内會計經理實地  
 検査ノ時機ヲ利用シ之カ検査ヲ執行セシメタルニ  
 其成績別紙報告ノ通り現品ノ保管出納新  
 陳交換其ノ他ノ要件ハ成績概シテ良好ナリ  
 戰用被服大小號數ノ割合ハ各部隊末々所望  
 ノ標準ニ達セサルモノアリト雖モ何レモ狭小ニ失シ  
 タルモノニアラサルヲ以テ戰時所要ノ目的ニ於テ  
 毫モ支障ヲ來スヘキ顧慮ナシ步兵第二十聯  
 隊ニ於ケル虫害ハ當時當該部隊長並經理

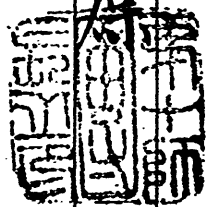


部長ノ報告ニ依リ直ニ之カ根本的ノ驅除消  
 毒ニ着手セシメ既ニ全部完了ノ報告ケタリ幸ニ  
 發生ノ初期ニ屬シタルヲ以テ戰用品ニ於ケル  
 被害極メテ僅少ニシテ消毒後ニ於ケル結果亦  
 善良ナリ本件ニ關シテハ曩ニ報告シタル所ノ  
 如シ  
 紺絨製被服品ニ現今著レク其數ヲ減シ本年  
 度動員計畫ニ於テハ野戰師團(師團輜重  
 ヲ除ク)ノ全部兵站諸部隊及留守部隊ノ  
 大半ハ凡テ現制式品ヲ用エルヲ得ルノ狀況ニ達セ  
 リ

以上ノ結果ニ依リテ見レハ一朝有事ニ際シ戦用  
被服中茶褐絨製品ト紺絨製品トヲ混淆  
着用スルノ不止得モノアルノ外他ハ全部完了  
ヲ告ケアルヲ認ム

明治四十三年十月二十七日

第十師團長小泉正好



陸

軍

十經計第六二七號 兵

明治四十三年度第十師團各部隊戰用品定期檢查成績報告

明治四十三年十月二十六日第十師團經理部長金山千次郎

第十師團長小泉正保殿

命依り明治四十三年六月十三日より全八月十日に至る間於テ

團下各部隊於ケル戰用品ノ實地検査ヲ施行シ其

成績尤記通及報告候也

尤記

一 戰用品準備ノ順序及程度

當師團戰用品取扱細則ニ定ルルニ則リ其製作年次

ノ新レキモノヨリ野戰部隊守備部隊留守部隊等ノ

編

二〇一

三〇一



列序、隨<sup>レ</sup>確實<sup>ニ</sup>區分準備<sup>ヲ</sup>了<sup>シ</sup>而<sup>レ</sup>テ品質ノ程度ハ  
 明治三十七八年戰役後復舊セラレタルモノヲ最<sup>ト</sup>其部  
 (被服品其大半)ハ爾後補修若ハ調辨品<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>現制式<sup>モ</sup>ノ  
 ト新陳交換<sup>ヲ</sup>了<sup>シ</sup>アリ

ニ、材料及製作方

何<sup>レ</sup>モ戰用品トシテ適良ノモノタルヲ認<sup>ラ</sup>ト雖モ多少舊式、  
 屬スルモノアリ、緞織製被服品、如<sup>レ</sup>是等ノモノ、全部交換<sup>ヲ</sup>了  
 スルハ帽衣袴ハ今後尙四ヶ年ヲ要<sup>シ</sup>外套ハ十三年ヲ要<sup>ス</sup>  
 マ<sup>レ</sup>(但<sup>シ</sup>師團下現在總數ヲ各部隊被服調製義務教<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>  
 除<sup>キ</sup>タル概算、依<sup>ル</sup>)

三、新陳交換

第一項ノ部隊順序、依リ且モ確實ニ交換ヲ實施シ製  
 作年次ノ古キモノ若ハ戦役後復舊ヲ受ケタル諸品中  
 一部品質製作等ノ劣ナルモノハ之ヲ平時用品ニ繰下ケ  
 アリ

但裁縫具ハ組品中地質皮革、糸類ニシテ復舊後全ク  
 交換ノ形跡ナキモノアリタルヲ以テ之カ交換ヲ行フベク注意  
 ヲ與ヘ置キタリ

#### 四、貯藏及保全

各部隊共凡テ品種別格納法ヲ採リ絨類綿布類皮  
 革類、金屬類等、區分貯藏シ且其保全ニ努ムル諸  
 般ノ實施モ概シテ其成績良好ナルモノト認ム

但歩兵第二聯隊、於テ第一聯隊用被服倉庫内付  
 囊、衣、靴、履、生ヲ認メ之ヲ駆除中、屬シタルヲ以テ仔細  
 同倉庫各種物品、就キ綿密ナル検査ヲ實施シタル、  
 茶褐絨衣袴中、同種ノ蟎虫生息スルヲ認メタルヲ以テ直ニ  
 聯隊長、注意シ同日ヨリ全力ヲ集メケテ之カ嚴密ナル調  
 査手入從事セシメ併テ此際殺虫、竝豫防ノ爲メ大消毒  
 ヲ行フ必要アルヘキコトヲ注意シ置キタリ  
 之カ発生原因ト認ムヘキハ昨秋以來害虫発生期ニ至ル  
 迄ノ間、於テ手入充分ナラザリト防虫劑ノ欠乏シタル、  
 乘シ倉庫窓牖ノ硝子戸建付ケ間隙ヨリ或ハ入口カノ  
 隙間、際レ害虫ノ潜入セルモノナラン而シテ該虫ハ未ダ獲

生々初期に属スルモノ、如ク肉眼ヲ以テ判別シ得ヘキ被  
 害品トシテハ背囊四個茶褐絨袴三個中、米粒六、  
 穴ヲ穿キタルモノヲ蔑見シタルノミナリ是等速々常用  
 新品ト交換スヘキコトヲ注意シ置キタリ

五、大小辨數割合

既往實驗之鑑、可成大ナルモノヲ以テ準備スルノ傾向  
 ルモ其割合ハ稍ヤ大ノモノ多キニ失レ各部隊カ統計ト  
 經驗ニ依リ定メタル標準ニ比シ違セサルモノ多ク蓋シ毎  
 之カ新陳交換ヲ行フヘキ際、於テ一方製作年次ノ突  
 係制セラレ或シ亦常時所要被服品ノ大小ノ顧慮ヲ  
 要スル等、加フルニ在リ庫シタル戰用被服ノ多クハ戰役

陸

軍

復舊に係る物品にシテ往々其地質材料調製方法等ノ  
 不良ナルモノアリタル結果、起因セルモノナラン依テ各部隊、  
 對シテハ最項各種ノ実係ヲ顧慮シ調節ヲ計リ綿密  
 ナル計畫ヲ樹テ以テ速ニ所望ノ標準ニ達セシメサルヘカラス  
 ルコトヲ注意シ置キタリ

六、保管出納

當師團戰用品取扱細則ノ定ムル所ニ依リ各部隊ハ  
 孰レモ糧秣炊具被服裁縫具馬匹手入具事務用品  
 ハ保管出納擔任者ヲ命シ適實ニ保管シ且所要ノ方  
 リテハ部隊長ノ命令ヲ待テ嚴正確實ニ出納シアル  
 ヲ認ム

0732

0733

大

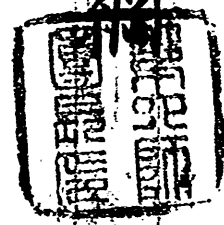
檢第一。五  
獸用品定期検査成績、件報告  
明治四十三年十一月二十五日

五四六號

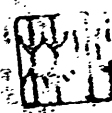
五月三日

經十月五日

第六師團長 男爵 木越安綱  
陸軍大臣 子爵 寺内正毅 殿



弘和 毅信



於ケル 獸用品中 獵袜 被服  
炊具 行李 及 馬 匹 手 入 具、定期検査  
師團 經理部長ニ 命シ 執行セシメ 候處  
其 成績 別紙、通リ、有之 候 条 及  
報告 候 也

十一月十三日

如

如

0732 0732

大

陸

軍

檢第一。五

五四六號

十月三日

陸軍大臣

陸軍大臣

十月五日

戰用品定期検査成績、件報告

明治四十三年十一月二十五日

第六師團長 男爵 木越安綱

陸軍大臣 子爵 寺内正毅 殿

陸軍大臣 寺内正毅 印

木越

本年各部隊に於ケル戰用品中糧秣被服炊具行李及馬匹手入具、定期検査ラ師團經理部長に命シ執行ハシ、候處其成績別紙、通り有之候条及報告候也

如

十月十三日

陸軍大臣

陸

軍

明治四十三年第六師團定期銃用品検査報告

本年第六師團各部隊銃用品、定期検査は六月六日開始し八月二十日終了セリ

第六師團は本年四月初旬に於て朝鮮ヨリ返還輸送を開始し同五月中旬に亘り全部其屯營に収着セリ為り検査開始の際に諸物品、整頓帳簿、整理未タ完全、域々達セサルモノアリシに拘ラス銃用品畧其整理を終り各部隊別各品種ヲ区分シテ格納し製作年次、大小昇数区分等ヲモ調定し新陳交換モ大畧完了に在り又其品質製作法モ一般に良好ナルモノト認メタリ然レ其貯藏保存、手入等ニ至リテハ留守隊、人負隊等ニ充分ノ實施ヲナシ得ナリシ結



果稍不完全、莫アリシ、依<sup>レ</sup>是等、對<sup>シ</sup>テ、直<sup>ニ</sup>注意<sup>ス</sup>、其<sup>レ</sup>相  
當<sup>ノ</sup>方法<sup>ヲ</sup>示<sup>シ</sup>以<sup>テ</sup>、改正補修<sup>ヲ</sup>行<sup>フ</sup>レタリ

之<sup>ヲ</sup>要スル、本年<sup>ニ</sup>於<sup>ケル</sup>各部隊前託物品、整理<sup>ハ</sup>例年<sup>ニ</sup>、  
比<sup>レ</sup>テ良好<sup>ノ</sup>成績<sup>ヲ</sup>致<sup>セ</sup>リト云<sup>ヒ</sup>難<sup>キ</sup>モ、本隊<sup>ノ</sup>歸還及留守隊<sup>、</sup>  
ヨリ引<sup>テ</sup>継受等<sup>、</sup>混雜<sup>ニ</sup>遭遇<sup>セ</sup>レモ、拘<sup>ス</sup>概<sup>シ</sup>テ、整頓<sup>セ</sup>ルモ、  
小認<sup>ム</sup>其細部<sup>、</sup>於<sup>ケル</sup>成績次<sup>、</sup>如<sup>シ</sup>

糧 食

一、糧食品中罐詰肉及食塩、大干及乾麴、麩、小部分<sup>ハ</sup>、  
乾役用<sup>、</sup>残品<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>充當<sup>ス</sup>ルモ、總<sup>テ</sup>、乾用<sup>ト</sup>シテ、差支<sup>ナ</sup>キモノト認<sup>ム</sup>、  
二、各隊<sup>ノ</sup>新陳交換<sup>ハ</sup>、概<sup>テ</sup>適當<sup>ニ</sup>實施<sup>セ</sup>レタリ、唯步兵第<sup>四</sup>、  
十五聯隊<sup>、</sup>步兵第<sup>六十四</sup>聯隊及工兵第<sup>六</sup>大隊<sup>、</sup>於<sup>テ</sup>、例年<sup>ニ</sup>、

次ノ新シキモノヲ補充隊ニ其ノ古キモノヲ戦列隊ニ充當

セルモノアリシヲ以テ即時訂正セシメタリ

三、醬油缶等ニ從來ノ如ク鑛ノ膨張セルモノアルヲ認メス

### 被服

一、被服ニ各部隊共ニ野戦師團用ノ帽、衣袴及外套ノ大部  
 分ニ茶褐絨製ヲ以テ充當シ在リ而シテ總テ、殘部紺絨製  
 被服ノ全ク茶褐絨製ニ交換スル終ル時期最長ハ輜重兵  
 第六大隊ノ明治七十八年最長ニ騎兵第六聯隊ノ同四十四年  
 シテ歩兵第六十四聯隊ノ全部既済其他、諸隊ノ同四十七  
 年乃至五十四年ノ間ニ在リ依テ各隊被服是交換整理ヲ行  
 明治五十五年ヲ以テ師團全部ノ交換ヲ終ル如ク計画セリ

二 被服ノ大小辨教、文教区分等、概シテ適當ト認メタリ唯  
 其ノ整理ノ細部、於テ辨教及文教、基々實物ノ大サ  
 紛シキモノ並ニ準備教ノ比例区々ナルモノニ、三アリシヲ以テ  
 直ニ注意ヲ共ニ速ニ改修ノ處置ヲ採ラシメタリ  
 三 戦夜間ノ地方調弁、係ル小被服類、地質、薄弱ノモ  
 ノアルヲ見テ、困ラシ此等ノ速ニ交換スルノ處置ヲ採ラシメタリ  
 四 被服ノ貯藏、保存及手入、概シテ未タ完全ノ域、達シ  
 ルモノト認メタリ、歩兵第十三聯隊、同第三十三聯隊及工兵第  
 第六大隊ノ倉庫中、既ニ出害ヲ蒙リシ痕跡、凡モノアリテ  
 危険ノ状態、在リシヲ以テ直ニ駆除手入ヲ行ハシメ、尚嚴ニ  
 注意ヲ加エシメタリ、而シテ其被害品、直ニ之ヲ取り去リ、常用新出

ヲ以テ補填セシメタリ

又被服ニ甚シク塵埃ノ附着セルモノ殊ニ指方帶天幕ニシテ  
外氣ニ觸レ變色セルモノ其他被服品ニシテ七島繩ヲ以テ  
結束セルモノハ黴ノ發生セルモノ革部ノ塗油過量ナル  
モノ等アリ而シテ一般ニナフタリシノ使用量寡少ナリト認メタリ  
困テ此等ニ就テ直ニ相當ノ處置ヲ取ラシメ尙嚴ニ注意  
シ加エシメタリ

手入實施施ノ日誌ナキモノアリ因テ其ニ其必要アル所以ヲ指示シ今  
後ハ必ズ之ヲ備エシムルコトセリ

五、新陳交換ノ概シテ適當ニ實施セラルリ但シ戦役後其  
餘裕品多クシテ毎年ノ調製敷少ク為メ更新ノ歩度

遅々たるモノアリトモ今年度ヨリハ漸次其進行ヲ見ルに至リ  
 六、保管出納ハ一帳ニ通常行ハレアリ但シ一、二常用品ノ混同  
 セシモノアリトテ以テ即時整頓セシメタリ又歩兵隊字四野隊  
 徒來其移動頻繁ナリト結果不整理ノ兵代隊  
 比レテ稍マカリシモ指道オノ上之ヲ整理セシメタリ

金櫃、行李、炊具、及馬匹手入具

一、金櫃、行李、保存手入ハ大ナル欠莫ナキモ一、二革部、  
 生ノ生シタル形跡アルモノアリトテ直ニ手入ヲ為サレノ又行  
 李ノ入包品中一、二器具ノ破損セルモノアリトテ直ニ修理  
 シ施サレタルコトセリ

二、炊具ノ手入ハ概シテ可ナルモ鉄部ニ炭鏽セルモノアリ又湯次

掃ミシテ水ノ洩ケスルモノアリシヲ以テ直ニ手入ヲ為サシムルコト、  
セリ

三、馬匹手入具ヲ保存概シテ良好ナリ但モ備ニ一般ノ防虫済ノ  
撒布ナク害虫ノ發生ノ慮アリシヲ以テナフタリシヲ撒布セシメタリ

帳簿

諸帳簿ノ記載方規程ニ合セサルモノ、諸記及其訂正ノ法  
ヲ認ルルモノ等アリテ整理充分ナラサルモノアリシモ微々タル欠點  
ナリシヲ以テ直ニ訂正セシ者尙將ホノ旨意ヲ促セリ  
就用品取扱規則等三十條等二項ニ據ル調書別紙  
通リトス

0741 0742

院

三月十六日

寸

陸軍省

陸軍省

二七三號

陸軍省

密受第

五十二號

戰用品検査成績、件報告

明治四十三年十月七日第七師團長田原貞作

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

戰用品定期検査終了、付別紙目錄之通

及報告候也

田原

田原

田原

卯

0742 1441

閱

三月十六日

申

陸軍省

陸軍省 密受第五六三號

陸軍省 密受第五六三號

戰用品検査成績、件報告

明治四十三年十二月七日第七師團長男爵上原真作

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

戰用品定期検査終了ニ付別紙目錄之通  
及報告候也





陣中事務用品製作年次区分調書壹  
陸軍省圖書部

一 報告書

壹

二 戰用被服新陳交換數調書 壹

三 戰用被服製作年次区分調書 壹

四 戰用糧秣新陳交換數調書 壹

五 戰用糧秣製作年次区分調書 壹

六 戰用炊具製作年次区分調書 壹

七 陣中事務用品製作年次区分調書 壹

八 戰用馬匹手入具製作年次区分調書 壹



目錄

一 報告書 壹

二 戰用被服新陳交換數調書 壹

三 戰用被服製作年次區分調書 壹

四 戰用糧秣新陳交換數調書 壹

五 戰用糧秣製作年次區分調書 壹

六 戰用炊具製作年次區分調書 壹

七 陣中事務用品製作年次區分調書 壹

八 戰用馬匹手入具製作年次區分調書 壹

# 戦用品検査成績報告

本年度検査ノ成績ニ其概要ニ於テ一般ニ可ナリト云フ  
 細部ニ至テハ猶不充分ノ兵少ナカラサルヲ以テ之レカ改  
 善ニ関シ充分ノ注意ヲ與ヘ置キタリ戦用品準備  
 保全等ニ関シテハ勤負實施ニ方リ毫モ支障ヲ生  
 スルコトナキモノト信ス

## 被服

### 準備ノ現況

本年度勤負計画ニ於テ準備ノ概況ヲ述ブレド  
 戦師團ニ輜重ノ一部ニ於テ少数ノ紺紙製外套アルノ  
 他ニ悉ク茶褐紙製ナレバ後備隊及補充隊ニ茶

褐絨及紺絨製ノ殆ント相半ハセル混合準備ナリ  
 而シテ現在ノ計画ニ基キ四十四四十五年度、委任經理  
 ニ於ケル可製被服ヲ以テ交換ヲ行フ時、四十六年度  
 ノ始ニ於テハ外套ヲ除ク外全部茶褐絨製トナルノ  
 豫算ナリ

ニ新陳交換

新陳交換ニ般ニ適當ニ實施セラレアリ然レモ重砲兵  
 及輜重兵隊ノ如キ貯藏被服ノ比較的多数ニ  
 隊ニ在リテハ頗ル困難ヲ感スル所ナリ以テ團下各隊  
 ニ於テハ年度被服ノ調製ニ鉅ニ其交換ヲ負担セシ  
 ムル如ク之ヲ實施シツテアリ而シテ本年度ニ於ケル交換ノ實

行別紙第一表ノ如シ

三、貯藏保全

貯藏保全共細部ノ莫ニ於テ未タ充分ナラズ襟章肩章ノ如キ附属物又ハ靴下手套ノ如キモノハ特ニ注意其質數ノ符合セズシテ再調ノ結果彼是常用新品ト混交シアルヲ發見シタルカ如キアリ防蝨劑ノ使用モ又適切ナラザルアリ中ニ古キ蝨害ノ痕跡ヲ留メアルモノ及現害蝨ノ發生シアルヲ認メタル部隊アリタルヲ以テ實際被害ナルニ調査ヲ為シ速ニ防過驅除ノ方法ヲ講ズルヲ警告ヲ為シ置キタリ

四、被服ノ大小ノ數

巻 頁

紺絨製ニ於テ稍過小ニ失スルノ嫌アルモノ少数アルノ外ハ  
寧ロ一般ニ寛裕ニシテ概ニテ適當ノ配合ヲ得タルモノ  
ト信ス

五 製作年次區分

製作年次區分ハ別紙第ニ表ノ如シ

六 保管出納

一般ニ確實ニ施行セラレテ帳簿及証憑書類ノ整理モ  
昨年ニ比シテ稍整頓シタルヲ認め得タリ

糧秣

準備貯藏保全並ニ保管出納等概ニテ適當ニシテ  
新陳交換モ亦規定ノ通り實行セラレテ其詳細ハ別紙

第三<sup>四</sup>表ノ如シ

炊具馬匹手入具及陣中事務用品

準備貯藏保全並ニ保管出納等ニ概シテ適當ナリ

・ 虽ト來馬隊以外ニル部隊ノ貯藏ニ関スル馬匹

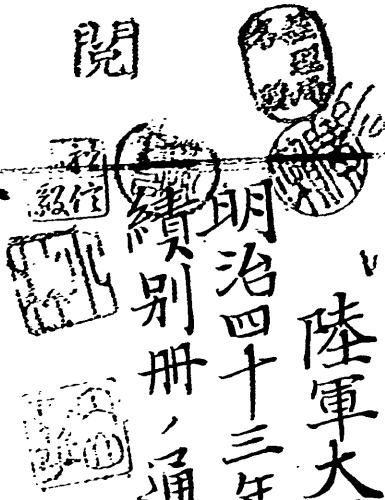
手入具ノ新陳交換ニ就テハ未ダ意ノ如クナラズ

宛中ナリ (第五六七表添付)

十月三日

閱

封



陸軍大臣子爵寺内正毅殿  
明治四十三年當團下各部隊保管戰用品檢查成  
績別冊ノ通及報告候也

第十四師團長男爵鮫島重雄

明治四十三年戰用品檢查成績件報告  
明治四十三年九月三十日

師團經 第一九七七號

陸軍省 密受第四一八號

十月三日



明治四十三年第十四師團戰用品檢查成績報告

當課關係別故  
（彙表）  
受令

經理局東條部

明治四十三年第十四師團戰用品定期檢查成績報告

明治四十三年度ニ於ケル各部隊ノ戰用品トシテ準備貯藏セル被服、糧秣、炊具、陣中事務用品及馬匹手入具ノ檢查ヲ施行セ  
ルニ準備ノ順序程度材料製作法貯藏保全及新陳交換等概  
シテ良好ノ状態ニ在リ又明治四十三年度動員計畫ニ係ル不足  
被服ハ大部分中央部ヨリ現品補填セラレヘキ命ニ接シ認識  
票各種徽章及梱包布等ハ漸次委任經理ノ經費ヲ以テ充  
實シ又其一小部分ハ動員ニ際シ調辦スルノ計畫ニシテ毫モ動  
員實施ニ蹉跌ヲ來タスコトナキモノト認ム尚其成績ノ概要ヲ  
舉クレハ左ノ如シ

第一 被服

一 準備ノ順序及程度

準備ノ順序ハ明治四十三年度動員計畫訓令ニ基キ其

整備部隊、順序ニ又其程度ハ戦用品取扱規則ノ順位ニ依リ充當補填シアリ而シテ本年度ノ不足数ハ中央部ヨリ大部分交付セラル、筈ニテ其現品ハ交付未済ナリ又認識票、各種徽章及梱包布、如キハ漸次委任經理ノ餘裕ヨ以テ充實シ尚其一小部分ハ動員ニ際シ經理部ヨリ現品ヨ各部隊ニ交付スル計畫ナリ

### ニ材料及製作法

準備品、大部分ハ三十七八年戦役残品ニテ充當シアルニ依リ各品種ニ關シ未タ充分ナラサル點アリト雖地質及裁縫ノ比較的ノ不良ナルモノヨリ漸次新陳交換ヲ勵行シツ、アルヲ以テ先ツ戦用トシテハ差支ナキモノト認ム

紺絨被服、大部分ハ茶褐絨ニ交換補填セラレ<sup>野</sup>戦師團中輜重ニ於テ若干ノ不足ヲ見ル然レ此不足ハ出征ニ際シテ

第一装茶褐絨ヲ充當セハ全部辛クシテ茶褐服ヲ着用シ得ル状態ニ在リ

### 三 新陳交換

新陳交換ハ適當ニ實施セラレツ、アリ而シテ各部隊ハ貯藏品及人員經費等ノ關係ニ依リ同時ニ紺絨製ヲ茶褐絨ニ交換スルコト困難ナルヲ以テ各部隊彼此平均交換法ヲ施行スル意見ニシテ紺絨ノ帽及衣袴ハ明治四十四年迄ニ紺絨外套ハ明治四十七年迄ニ全部交換完了ノ豫定ナリ新陳交換實施表ハ所表第一ノ如シ

### 四 貯藏保全

貯藏法ハ品種別トシテ更ニ之ヲ部隊別ニ區分シアリ然レモ歩兵聯隊及野砲兵聯隊ニ在テハ其倉庫ノ構造中隊別ナルヲ以テ野戰隊ニ限り特ニ部隊別ニ貯藏スルコト、セ

各部隊共貯藏保全ニ關シテハ一般ニ研究シツ、アリテ其成績概シテ可ナリト認ム然レモ防蟲劑ノ使用法並ニ格納法ノ細部ニ關シ不充分ノ點アリタルヲ以テ夫々適應ノ注意ヲ與ヘ置ケリ

### 五 被服ノ大小號數ノ割合

大小號數ノ割合ハ未タ所望ノ點ニ達セス是レ三十七八年戰役ノ殘品ナルヲ以テ其員數ト大小號數トノ關係適當ナラサルノ結果ト信ス故ニ各部隊ニ對シテハ現役兵並ニ豫後備役兵ノ身幹尺度ヲ調査シ之ニ被服本廠調製ニ係ル各品種ノ百分率兵種別表ヲ参照シ尚防寒用ノ下著靴下等ヲ著用スル場合シモ顧慮シ實際ニ適合スル如ク研究改善ヲ圖ルヘク注意ヲ與ヘ置ケリ

### 六 製作年次區分

製作年次ハ確實ニ區分シアリ而シテ其年次ハ復舊後日尚浅キヲ以テ地質ニ對シ何等ノ影響ヲ認メス其詳細ナル狀況ハ附表第二ノ如シ

七 保管出納

帳簿證憑書類及現品トノ關係ハ一般ニ確實ニ施行セラレアリ

第二 糧秣

一 準備ノ順序及程度

明治四十三年度ノ動員計畫ニ係ル品種數量ハ全部完備シアリ而シテ本年度ニ在テハ糶ニ對シ乾麵麩ノ交換施行セラレタル結果全部乾麵麩ヲ以テ準備スルニ至レリ

二 新陳交換

中央部ノ命令ニ基キ確實ニ施行セラレアリ其詳細ナル

狀況ハ附表第三ノ如シ

### 三 貯藏及保全

一般ニ概シテ適當ニ施行セラレタリ然レモ壁ニ接近シタルモノ直接窓ヨリ日光ヲ受クルモノ堆積方ノ確實ナラサルモノ等ニ對シテハ夫々適應ノ注意ヲ與ヘ置ケリ

### 四 製作年次區分

製作年次ハ確實ニ區分シアリ然レモ中央部ヨリ交付セラル、罐詰肉ニハ民間會社ノ製作ニ係リ且交換期限ヲ超エタルモノアリ其詳細ハ附表第四ノ如シ

### 五 保管出納

概シテ確實ニ施行シアリト雖帳簿及證憑書類ノ整理ニ關シ不充分ノ點アリタルヲ以テ夫々適應ノ注意ヲ與ヘ置ケリ

### 第三 炊具陣中事務用品及馬匹手入具

#### 一 準備ノ順序及程度

明治四十三年度ノ勤員計畫ニ係ル品種數量全部整備シ又其程度ハ概シテ可ナリ然レモ戰用行李ハ其定數ニ多數ノ過數ヲ生シ居レリ

#### 二 材料及製作法

概シテ適當ナリ然レモ炊具中菜包布、飯包布、小杓子等ニ於テ一部充分ナラサルモノアリタルヲ以テ貯藏部隊ニ於テ交換スルハ注意ヲ與ヘ置ケリ

#### 三 新陳交換

概シテ適當ニ施行セラレツ、アリ  
炊具中ニハ平時使用セサル品種アリト雖目下新品程度ノモノ多キヲ以テ交換ノ必要ナキモ年數ヲ經過スルニ從ヒ益々



交換ニ困難ヲ来スナラン

陣中事務用品中戦用行李ハ製作年次新シク且各部隊ニ於テ平時用ノ新調品ナキヲ以テ其交換ナシ手入具ハ復舊後日尚浅キヲ以テ交換ノ必要ヲ感セサルモ数年後ニ在テハ乘馬隊ニ於テ歩兵隊ノ交換シモ負擔スルニ依リ其交換益困難ノ状態ニ至ラン

#### 四 貯藏及保全

炊具ハ概シテ適當ニ手入ヲ為シ格納セラレアルモ飯布、菜包布、水漉類ノ格納ニ於テ粗漏且防蟲ノ顧慮ヲ欠キ鐵竈、庖丁、罐切ニ不注意ノ點アリタルヲ以テ夫々適應ノ注意ヲ與ヘ置ケリ

陣中事務用品ハ概シテ適當ニ手入ヲ為シ格納シアリ  
馬匹手入具ハ其貯藏法ニ於テ充分ナラサル點アリタルヲ以

テ將來ハ充分密閉セル箱内ニ格納シ且<sup>1</sup>ナフタリン<sup>2</sup>ヲ適當ニ  
 散布シ又其周圍ノ接際部ヲ密閉シ以テ其保存ヲ確  
 實ニシ新陳交換ノ困難ヲ成ル<sup>3</sup>ク除去スル如ク注意ヲ  
 與<sup>4</sup>置ケリ

### 五 製作年次區分

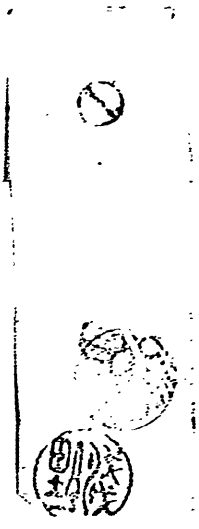
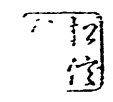
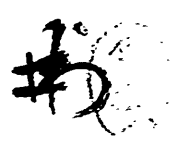
製作年次ハ確實ニ區分シアリ其詳細ナル狀況ハ附表第  
 九、十、十一、十二ノ如シ

### 六 保管出納

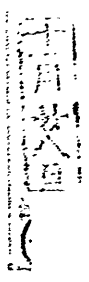
概シテ適當ニ施行セラレアリ

終

0761 1920 0762 閱



陳中事務用左第作年一次  
加 深



陸軍省 文書第五一八號

第四四二一

明治四十三年度戦用品定期検査報告

明治四十三年十一月二十一日

近衛師團長 男爵 上田有造

陸軍大臣子爵寺内正毅殿

2920 閱

明治四十三年度近衛師團戦用品定期検査成績ハ左  
如クニ候條戦用品取扱規則第三十條ニ依リ此段及報

告候也

戦用品準備ノ順序及程度ノ適否

戦用品準備ノ順序及程度ハ概シテ適當ナリト認ム

準備品タル被服品ハ背負袋動負ニ方リ被服手入具

及東京第一衛戍病院ニ於ケル梱包布被服手入具及梱包布動負ニ方リ調辦ス

ヲ除ク外全ク整備ヲ告ケ其順序及程度ニ於テモ適  
 當ナルヲ認ム但シ茶褐絨製服ハ帽衣袴ニ於テ全  
 數ノ約三分二弱外套ニ於テ半數餘ニ達シタル狀  
 況ナルモ野戰師團(輜重)一部ヲ除クハ之ヲ以テ充實  
 セラレタリ

非準備品タル補助輸卒隊用被服ノ應用品モ帽衣袴  
 外套ノ所要數ニ對シテハ只夏衣袴ニ於テ約一割弱  
 ノ不足動員ニカカリ  
 交付セラルノ外之カ需用ヲ充スコトヲ得テ葉漸  
 成病院患者用被服ノ應用品ニ就テモ僅少ノ不足  
動員ニカカリ交付セラレ  
 若クハ調辨スヲ見ルノモ  
 動員ノ除ニ於ケル不合豫備被服ハ各隊共委任

經理品ノ内ヨリ相當ノ数ヲ定メテ夫々之ヲ準備シ  
アリ

準備品タル馬匹手入具糧秣炊具陣中事務用品  
ハ何レモ所要數ヲ充實準備セラレタリ

ニ材料及製作方ノ戰用適否

材料及製作方ハ共ニ戰用ニ適スルモノト認ム

三 新陳交換實施ノ正否

新陳交換ハ概ネ正確ニ實行セラレアリ只罐詰肉

ニ於テ規定ノ交換期限内ニ新陳交換ヲ了セザル

モノアリ之シ糧秣廠ニ於ケル戰後殘品存在ノ關係

ヨリ規定ノ如ク交付セラレザルニ依ル

四 貯藏及保全方法ノ適否

貯藏及保全ノ方法ニ就テハ昨年度ノ成績ニ鑑ミ  
 特ニ各隊ニ對シ注意ヲ與フヘタル結果全ク面目ヲ  
 一新シ貯藏及保全ノ方法概シテ適當ナルヲ認メタ  
 リ特ニ馬匹手入具ヲ除ク他ノ諸品ハ近漸輯重兵大  
 隊及鐵道聯隊ニ於テ良好ナルヲ見ル只近漸歩兵  
 第三聯隊ニ於テ一二害蟲ノ棲息セルヲ發見セシテ遺  
 憾トス

五 被服ノ大小踰教等ノ割合ノ適否

被服ノ大小踰教等ノ割合ハ各隊共之レニ重キト置  
 テ其比準ニ概テ適當ナルヲ認ム

六 保管出納ノ正否

保管出納ハ正確ナリ

七 簿票ノ整否

各簿票ノ整理ハ適當ニ行ハレタリ

八

戰用被服品製作年次區分調書、同新陳交換調書、  
陳中事務用品製作年次區分調書、戰用糧食製作

年次區分調書、同新陳交換調書、戰用炊具製作

年次區分調書、同新陳交換調書、戰用馬匹年入具

製作年次區分調査表、同新陳交換調書ハ別表ノ

如シ

之ヲ要スルニ本年ニ於ケル検査成績ハ各隊間大ナル軒輕



2920

ナリ概シテ前年ニ比シ改善ノ實ヲ舉ゲタルヲ認ム

品名	第一		種		日	絨	衣	絨		品
	各兵	各部	各部	各部						
現在数	三三四八四	一六九八八	三〇〇	七二二	一七七二九	三三九〇三	一六二五二	三〇八	七二五	三九三〇
製		五			一六九〇		一〇九		三	
作		二〇九二		二八一	二二五〇		二二五七	一	六八一	一七二七
年	二八〇五	一〇九二一	〇	一〇〇	六九七九	二〇〇八	一〇二二六	一	七〇	一六二七
次	九二〇九			七〇	一三〇	一七九一九	六三〇	一五八	一	二二九六
電	六二〇五			一〇〇	一三〇	九二二八		二〇		二二九六
分	八二〇五			一〇〇	一三〇	九二二八		二〇		二二九六
調	八二〇五			一〇〇	一三〇	九二二八		二〇		二二九六
査	八二〇五			一〇〇	一三〇	九二二八		二〇		二二九六
年	八二〇五			一〇〇	一三〇	九二二八		二〇		二二九六
数	八二〇五			一〇〇	一三〇	九二二八		二〇		二二九六

正備用軍用被服品製作年次電分調査白











								冬 衣 袴	帽 入 目 番
								二 九	一 三 九
								シ	一 三 三
									一 三 三
									一 三 三
									二
									一 三 三
									一 三 三
									一 三 三

陸  
軍

品目		第一各兵		種各部		絨各兵		衣各部		絨乘馬		袴徒歩	
日		茶		茶		茶		茶		茶		茶	
廿九年	廿九年	一	七	三	三	九	六	一	九	一	一	一	一
廿九年	廿九年	二	八	四	五	七	七	二	六	二	二	二	二
廿九年	廿九年	三	四	五	六	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	四	二	六	七	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	五	八	七	八	一	一	五	一	五	五	五	五
廿九年	廿九年	六	六	八	九	二	二	六	二	六	六	六	六
廿九年	廿九年	七	九	九	一	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	八	六	一	二	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	九	一	二	三	五	五	一	五	一	一	一	一
廿九年	廿九年	一〇	七	三	四	六	六	二	六	二	二	二	二
廿九年	廿九年	一一	三	四	五	七	七	三	七	三	三	三	三
廿九年	廿九年	一二	六	五	六	八	八	四	八	四	四	四	四
廿九年	廿九年	一三	二	六	七	九	九	五	九	五	五	五	五
廿九年	廿九年	一四	八	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	一五	四	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	一六	〇	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	一七	七	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	一八	三	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	一九	九	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	二〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二
廿九年	廿九年	二一	二	四	五	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	二二	八	五	六	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	二三	四	六	七	〇	〇	五	〇	五	五	五	五
廿九年	廿九年	二四	〇	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	二五	六	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	二六	二	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	二七	八	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	二八	四	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	二九	〇	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	三〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二
廿九年	廿九年	三一	二	四	五	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	三二	八	五	六	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	三三	四	六	七	〇	〇	五	〇	五	五	五	五
廿九年	廿九年	三四	〇	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	三五	六	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	三六	二	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	三七	八	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	三八	四	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	三九	〇	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	四〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二
廿九年	廿九年	四一	二	四	五	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	四二	八	五	六	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	四三	四	六	七	〇	〇	五	〇	五	五	五	五
廿九年	廿九年	四四	〇	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	四五	六	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	四六	二	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	四七	八	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	四八	四	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	四九	〇	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	五〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二
廿九年	廿九年	五一	二	四	五	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	五二	八	五	六	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	五三	四	六	七	〇	〇	五	〇	五	五	五	五
廿九年	廿九年	五四	〇	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	五五	六	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	五六	二	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	五七	八	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	五八	四	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	五九	〇	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	六〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二
廿九年	廿九年	六一	二	四	五	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	六二	八	五	六	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	六三	四	六	七	〇	〇	五	〇	五	五	五	五
廿九年	廿九年	六四	〇	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	六五	六	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	六六	二	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	六七	八	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	六八	四	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	六九	〇	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	七〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二
廿九年	廿九年	七一	二	四	五	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	七二	八	五	六	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	七三	四	六	七	〇	〇	五	〇	五	五	五	五
廿九年	廿九年	七四	〇	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	七五	六	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	七六	二	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	七七	八	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	七八	四	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	七九	〇	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	八〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二
廿九年	廿九年	八一	二	四	五	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	八二	八	五	六	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	八三	四	六	七	〇	〇	五	〇	五	五	五	五
廿九年	廿九年	八四	〇	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	八五	六	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	八六	二	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	八七	八	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	八八	四	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	八九	〇	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	九〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二
廿九年	廿九年	九一	二	四	五	八	八	三	八	三	三	三	三
廿九年	廿九年	九二	八	五	六	九	九	四	九	四	四	四	四
廿九年	廿九年	九三	四	六	七	〇	〇	五	〇	五	五	五	五
廿九年	廿九年	九四	〇	七	八	一	一	六	一	六	六	六	六
廿九年	廿九年	九五	六	八	九	二	二	七	二	七	七	七	七
廿九年	廿九年	九六	二	九	〇	三	三	八	三	八	八	八	八
廿九年	廿九年	九七	八	〇	一	四	四	九	四	九	九	九	九
廿九年	廿九年	九八	四	一	二	五	五	〇	五	〇	〇	〇	〇
廿九年	廿九年	九九	〇	二	三	六	六	一	六	一	一	一	一
廿九年	廿九年	一〇〇	六	三	四	七	七	二	七	二	二	二	二

明治四十三年度近衛師團戦用被服新陳交換請書







編上靴	手 套	袴下		襦袢		襟 布	雨 覆	章						
		冬	夏	冬	夏			衛生部	経理部	輜重兵	工兵	砲兵		
一四	三九〇													四五〇
二九五	七二					九八〇				五八	二七		四九六	九二六
二〇七一	二〇〇〇	一〇七六五	一一四四三	一〇三九五	一〇九二四	四二六三	一一	四四	三四	一八四		二三八	一三九一	
		二四	二四	二四	二四	二四								
二三八〇	三三八四	七三六〇	一〇八八一	七三九二	一一二六二	一〇三四		一一	五〇					一六八一
	二六五四	一〇八四		五八二		三四六		七五	七	八四		四九六	一〇八六	
	一三四	一一三〇		一一三〇		三九八九	一一	六	四	一〇〇		九九四		
		一三六七	六一八	一三六七	六一八	二五三〇						一三四		

陸軍

厚毛布	携帶天幕	水筒	飯盒	雜囊	背囊	脊負袋	靴下	卷脚絆	長靴	半長靴	同 (工兵用)
五七六											
一五二〇	五〇〇	二四	三七八		三八				三四〇	六四五	一六二
	五〇一			五八六	六五二		五、六〇四	二九五	一〇〇	一、三三三	一、〇五二
五三	二四	三七八	二四	三一、一六	三〇三	四	三〇、七七四	四〇、四一	二三〇		
二〇九六	二四	二四	二四	三、四八五	二二	四	二〇、〇〇	四		一八	一一八
五三	九三五	三七八	三七八	二一七	六九		一〇、一一四	三、九九	六七〇	<del>一、九九〇</del> 九、九	一、〇九六
	六六				一三		九、五六四	一、二四			
					八七四		一、三八八	七、四三			
					一五		八一六	二、六六			

陸軍

品目		近衛師團戡用糧食製作年次區分調書				
		現在數	三十八年	三十九年	四十年	四十一年
攜帶糧食	乾麵包	一五、六七四七六〇				一五、六七四七六〇
全	代用糲	七、二〇〇	七、二〇〇			
全	牛肉罐詰	五、八五六、〇〇〇	三、〇六四、九六〇	二、七九八、〇〇〇		
全	食塩	七三八、〇〇〇	五八九、五〇〇			一四八、五〇〇
全	尋常糧食牛肉罐詰	四、八七六、八〇〇	一、五三六、〇〇〇	四、三〇五、六〇〇	四、一七六、〇〇〇	
全	食塩	九一八、〇〇〇	五一〇、〇〇〇			四〇八、〇〇〇
全	醬油エキス	八七四、八〇〇			三、六〇〇	八七二、〇〇〇

備考

本表外糲區數 三十八年製石壹石五斗現在



陸軍

明治四十三年年度近衛師團戰鬥糧食新陳交換數調書

品目	交換數		交換數		備考
	受入	發出	受入	發出	
携帶糧食乾麵包	三十七年製三十八年製三十九年製四十年製	四十年製	四十年製	三十九年製四十年製	
全 代用糧			一五六六〇	一七四六〇	
全 牛肉罐詰	七二〇、九四〇、三六四、〇〇〇			三九八、二二〇	
全 食塩			一四八、五〇〇	二六、〇〇〇	
尋常糧食罐詰	三三六、〇〇〇、四二八、〇〇〇、四七、六〇〇			七、三八〇、〇〇〇	
全 食塩			四四、〇〇〇	一三、〇〇〇	
全 醬油工平入			全三、四〇〇	一四、三三〇	
				一〇、八〇〇	
				三、三三〇	



陸軍

近衛師團戦用炊具製作年次区分調書

品目  
甲 蹄炊具  
乙 辮炊具  
備考

現在数	製作年次区分数				
	三十八年	三十九年	四十年	四十一年	四十二年
一三	〃	一	一	〃	〃
二五四	五八	一六五	二	一五	一四

陸軍



近衛師團戰用炊具新陳交換數調書

品  
目  
乙  
號  
炊  
具

交換受入數  
四  
十  
三  
一  
四  
年

交換拂出數  
三  
十  
九  
一  
五  
年

備考

本區拂出、近衛輜重兵大隊ニ於テ燒失、分、  
受入ハ右、補填トス。



陸  
軍

品 毛 鐵 鐵 雜 牛

入

近衛師團戰用馬匹手入具製作年次區分調査表

明治四十二年春開

目	現在数	三十七年	三十八年	三十九年	四十年	四十一年	四十二年	計
櫛	一四九八六	四四	二九	三〇三	一一三八〇	三〇一五	二一五	一四九八六
櫛	一四九八六	三三二	四一一	四五三	一一四六一	六三一四	一五	一四九八六
篋	一四九八六	三三二	四一一	四五三	一一四六一	六三一四	一五	一四九八六
布	一四九八六	一九	一七	〃	三〇八三	一六九六	〃	一四九八六
袋	一四九八六	三三二	四〇一	四五三	一一四九六	二二八九	一五	一四九八六

計

近衛師團司令部



近衛師團戰用馬匹手入具新陳交換調書

明治卅三年五月調

品  
毛  
計

目  
櫛

九 八	九 八	交	四 十 二 年	換	九 八	九 八	教	四 十 三 年	計	一 二 三	一 二 三
		換	二 五								

近衛師團司令部